

文化財News速報

～祝！千住大橋が鉄橋化90年～

小学校社会科副読本の表紙を飾った版画発見

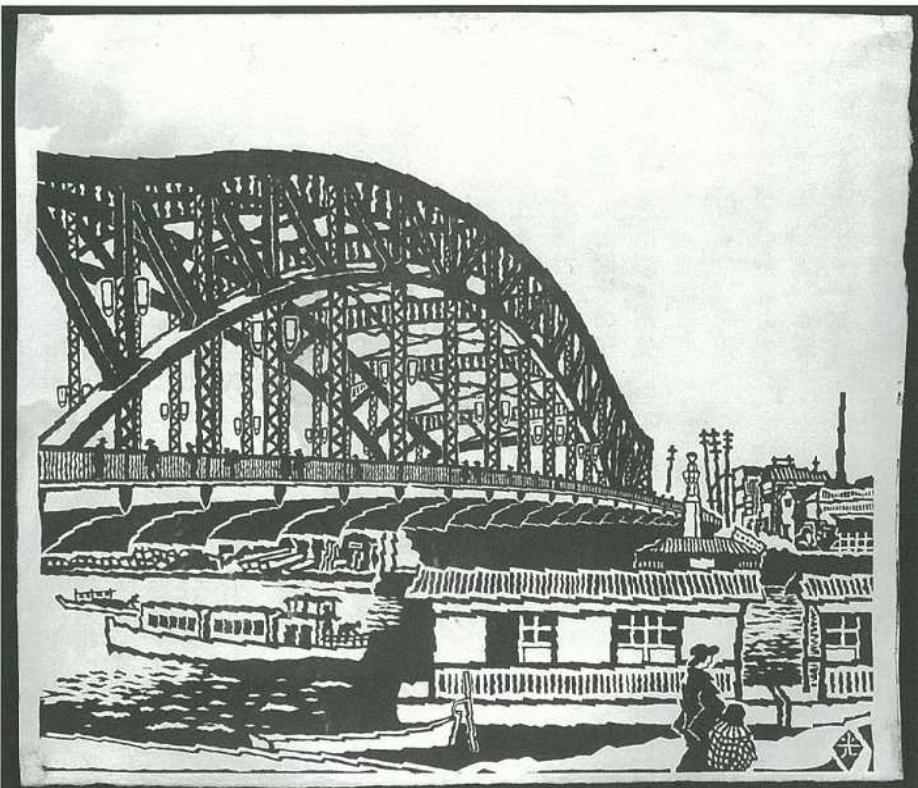


写真1 渡辺光亭「千住大橋」

橋へのまなざし この版画は、千住大橋が鉄橋化当初より単に渡るだけではない歴史的価値と魅力を持つていたことを教えてくれます。これを機に改めて、多くの歴史をつなげた千住大橋を古えの旅人の気持ちになつて渡つてみませんか。



写真2 現在の千住大橋

荒川ふるさと 文化館だより

荒川区教育委員会
荒川ふるさと文化館
荒川区南千住6-63-1
TEL 03(3807)9234
登録(29)0043号-02

千住大橋鉄橋化90年 平成29年（二〇一七）12月12日、千住大橋は鉄橋化して90年目を迎えました。文禄3年（一五九四）、徳川家康が江戸に入つて最初に架けた橋です。隅田川で最後の木橋でしたが、鉄橋化を契機に復興事業の一貫と位置付けられ、昭和2年（一九二七）に完成しました。戦災を経て、以後、補修を重ねながら現役として活躍しています。大橋は歴史的建造物としても重要で、タイドアーチ橋という構造をしています。この形式の橋としては日本最古の事例で、荒川区指定文化財（史跡）になっています。

昭和初期版画の千住大橋 昨年末、町屋に住んでいたという版画家、渡辺光亭の版画30点が、荒川ふるさと文化館に寄贈されました。光亭は、昭和10年～43年にかけ日本版画協会や国画会などで活躍した版画家です。お化け煙突などが描かれた「新東京百景」シリーズや関東大震災後の惨状を描いた作品等を手がけました（※町田市立国際版画美術館に、光亭の情報をお寄せ頂きました）。

この中に、鉄橋化された千住大橋を描いた版画も含まれていました（写真1）。この版画は、昭和63年度発行の区立小学校の副読本『わたくしたちの荒川区』の表紙として使用されていますので見覚えのある方もいるかもしれません。手前が橋戸町（足立区）、奥の欄干側が南千住であり、アーチ下の橋上には人びとが徒歩で往来している様子が見えます。橋下には船が行き交い、奥には材木の山、手前は船着場でしょうか。女性と子どもの姿も描かれています。関東大震災をくぐり抜けた渡辺氏にとって、鉄橋化された千住大橋は、東京の復興のシンボル・東京の新名所的題材の一つだつたといえるでしょう。



写真 開運大黒天設置の
標柱（経王寺）

過ぎゆく季節へのたより IX

谷中七福神の大黒と青雲寺・経王寺

谷中七福神詣の大黒と青雲寺　“昔、布袋は修性院ではなく青雲寺だったのでは？”　“大黒は経王寺だつた”云々。谷中七福神に関するこうした問合せは、年に一度はやつてくる。回答としてはいずれも正しい。とはいへ、こうした疑問が生まれるのは、無理もない。変遷が整理されていないからだ。

としては、安永年間（一七七一～八二）の「集古一滴」に遡る（『北区史』通史編近世）。これによれば、谷中七福神詣は18世紀後半には始まっており、青雲寺が大黒・恵比須・布袋の寺となつてゐる。

しかしその後、布袋は単に「日暮里」・花見寺となる。花見寺は青雲寺も含むが、ここでは修性院を指す。文化9年（一八二二）、青雲寺に盜賊が入り、住職は殺害され、無住となつた結果、布袋は修性院持ちとなる（「街談文々集要」・「武江年表」）。これをもつて谷中七福神詣は下火になつたといわれ（「江戸風俗懶まくり」）、青雲寺は明治まで記録から姿を消す。

経王寺の石碑 今日の私たちが、経王寺を大黒の寺だと氣付かされるきつかけになつてゐるのが、同寺山門前の「開運大黒天安置」の石造の標柱だ（写真）。大正6年（一九一七）六月に建立されたこの標柱には、正面左に「谷中七福神之内」と刻まれてゐる。もつとも、経王寺の大黒は、「日蓮上人御真作」と伝えられ信仰を集めしており、区登録有形民俗文化財（中央区）の「西方」と、「しか竈 左安」が世話を人となり、神田・浅草・深川・八丁堀など、東京中の職人・消防・飲食関係者らが建てた。七福神再興 ところで、少なくともこの人たちは経王寺を谷中七福神の寺と考えてゐた。明治12年（一八七九）から、経王寺が谷中七福神の大黒の寺として登場し、青雲寺は恵比須の寺として再登場する。実はこの事情ははつきりしている。

同11年冬、小説家の高畠藍泉は、風月堂主人と道灌山へ枯野見に出かけた。修性院に立ち寄ると、布袋もその御堂も大破していたので、修繕しようということになつた。その足で池之端の料理屋清凌亭の主人に相談し、講談師の桃川如燕・圓燕枝、帮間の松廻家露八、歌舞伎役者の市川団十郎・左団次たちの寄付を得て、堂宇と布袋を修繕したのだつた（齊藤扇松「七福神詣」『風俗』1—5）。民俗学者研究者の山中共古が斎藤扇松に教えてもらつたところによると、「青雲寺にハ元は大黒天もありしが、経王寺では非當寺の大黒天を七福神の中へ加へて呉と言われ、青雲寺でハ

稲田大学図書館蔵)。 恵比須斗りにした」という(「共古日録」一〔早
この時、清凌亭の主人は、摺物も作り(恐
らく浦井正明「谷中七福神案内図」
621)で紹介されているもの)、清凌亭主人をはじめ、清元仲太夫、三遊亭金朝ら7名が、七
福神に扮し、七福神の寺々を回って置いていつたという。

「昔は此の七福神が皆谷中に祀つてござりまして、毎年一月には現今でも旧駄なお方はお参りに出かけます」と語る（『円朝全集』一三）。円朝の世相認識が的を射ていれば、明治の終わりには、七福神詣が古いしきたりを守つてゐる人にしか行われない習俗となつていて、再び下火になつていたらしい。

谷中七福神詣には盛衰があり、よつて、その時々の人びとの行動の積み重ねが「正式」さを担保していた。だから、大黒を護院としながらも、「重複するが福神なら幾つでも多い程い」として経王寺にも寄つてゐる人もいた（下田水波「初春縁起 七福神詣で」『旅』8—1、一九三一年）。このような考え方は本來今だつてありなのである。

龜川泰照

この時、清凌亭の主人は、摺物も作り（恐らく浦井正明「谷中七福神案内図」）『うえの621』で紹介されているもの）、清凌亭主人をはじめ、清元仲太夫、三遊亭金朝ら7名が、七福神に扮し、七福神の寺々を回って置いていたという。

盛衰と「正式さ」 今のところ、明治40年以降、大黒の寺を現行の護国院とするものが増えるが、経王寺とする記録は、昭和4年（一九二九）まで確認できる。この辺りのことは、はつきりしてはいなけれど、三遊亭円朝は、落語「七福神詣」の中で、「七福神詣に行くんだ」といふ甲に、「旧弊なことを言つてゐるね」七福神詣といへば谷中へ行くんだらうが霜どけで大変な路だぜ」と乙に語らせ、「七福神参り」では、「昔は此の七福神が皆谷中に祀つてござりまして、毎年一月には現今でも旧弊なお方はお参りに出かけます」と語る（『円朝全集』一三）。円朝の世相認識が的を射ていれば、明治の終わりには、七福神詣が古いしきたりを守つている人にしか行われない習俗となつていて、再び下火になつていたらしい。

谷中七福神詣には盛衰があり、一よつて、その時々の人びとの行動の積み重ねが「正式」さを担保していた。だから、大黒を護国院としながらも、「重複するが福神なら幾つでも多い程い」として経王寺にも寄つている人もいた（下田水波「初春縁起 七福神詣で」『旅』8—1、一九三一年）。このような考え方は本来今だつてありなのである。 〈亀川泰照〉

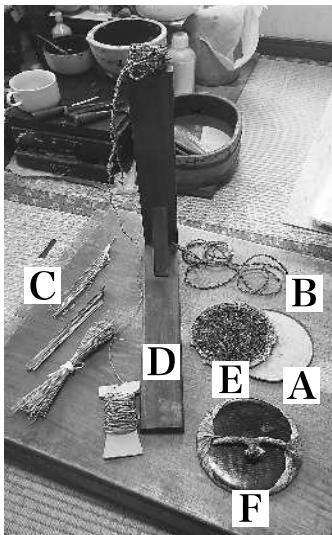


写真1 川嶋さんがバレン縄を編み、バレンを作成させるときに使う道具類

バレンは自分の手で、版木の上に紙をのせ、圧をかけることで顔料を紙に付着させる「バレン」、学校の授業で版画を習った人なら、この道具を使つたことがあると思います。木版画摺師の腕前を発揮する大切な道具です。職人は自分で道具を揃えるといいますが、川嶋さんも、そのバレン作りの一部を手がけています。バレン作りには、大きく分けて、和紙をずらしながら何重にも重ねたものを漆、二カワで固めた黒くて丸い「あて皮」(写真1-A)

成29年度に指定無形文化財保持者となつた木版画摺職人の川嶋秀勝さんの調査から、職人の道具づくりと、仕事場で使われている言葉について紹介します。

職人さんの独特な言葉を「聞き取る」貴重な時間です。今回は、平成29年度に指定無形文化財保持者となつた木版画摺職人の川嶋秀勝さんの調査から、職人の道具づくりと、仕事場で使われている言葉について紹介します。

職人さんの独特な言葉を「聞き取る」貴重な時間です。今回は、平成29年度に指定無形文化財保持者となつた木版画摺職人の川嶋秀勝さんの調査から、職人の道具づくりと、仕事場で使われている言葉について紹介します。

次に、L字型の道具を使い、縫り合わせ紐状にしていきます(D)。網目はコブ状をなし、このコブの大きさで摺りの仕上がりが変わることです。さらに、バレン縄を巻いて円心状にしたバレン芯(E)を、あて皮にのせ、包み皮で包み、「バレン」(F)が完成します。川嶋さんに限らず、頗よく、使いやすく自分に合う道具を作る職人さんが多く、親方が受け継いだ道具も大切に使っています。

道具を表す言葉さて、道具や工程を見ながら話を聞いていると、聞きなれない言葉がポンポンと飛び出できます。川嶋さん独特の言葉は、道具の呼び名や作業の動作が表現にも登場します。

摺り台の前に座り、無駄のない動きで作業は進められています。道具を説明する川嶋さんは、作業にあわせてリズムよく言葉をのせています。道具箱は横にあるから「ヨコ台」。摺りあがつたものを流れよく置くためには左に置かれた「ハネ台」は、跳ねるように載せていくからかな、と川嶋さんは説明してくれました。顔料を版木にのせる刷毛は、顔料を溶いて使うから「トキ棒」、またはその動作から「ほこび」とも呼ばれます。

また、傾斜のついた摺り台には、版木の下



写真2 作業場での川嶋さん

作業場の姿 中学卒業後に関岡功夫氏(元荒川区指定無形文化財保持者、二代目扇令)に弟子入りした川嶋さんは、現在、弟子を1人育てています。自分の親方の孫・小川信人さんは、道具の呼び名や作業の動作が表現にも滑り止めの役割を果たす布が置かれており、「やわら」と呼んでいます。川嶋さんは手ぬぐいを4分割した「やわら」を四隅に置いています。

職人と話す みなさんは伝統工芸の職人さんと話す機会はほとんどないと思いますが、毎年、夏に開催している「あらかわの伝統技術展」(今年は7／6～8)、館のあらかわ伝統工芸ギヤラリーで月一回行つてある実演＆ワークショップ「あらわ座」などに参加すると、身近に職人と話ができる機会となっていますので、是非お越し下さい。〈八代和香子〉



荒川区俳句宣言起草をはじめ区の俳句文化振興にご尽力いただきました、現代俳句の第一人者、金子兜太先生が平成30年2月20日に逝去されました。

先生は、現代俳句の第一人者として俳壇を牽引し、俳句の素晴らしさを国内外に発信し続け、荒川区俳句宣言の起草委員を務めてくださいました。

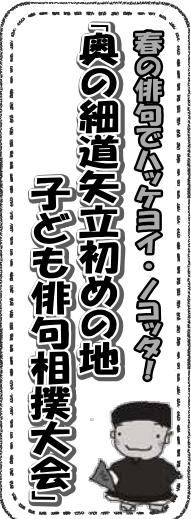
「荒川千住」に始まるこの句は、俳句のまち、奥の細道ゆかりの地荒川区に金子先生がお寄せ下さったものです。このことを記念して、平成29年3月21日、金子先生揮毫による句碑を荒川ふるさと文化館前に建立しました。奥の細道矢立初めの地南千住に相応しい句碑として、多くの方々が訪れるところとなつています。金子先生のご逝去を悼み謹んでお悔み申し上げます。

現代俳句協会の名誉会長 金子兜太先生を偲ぶ

荒川千住 芭蕉主従に 花の春

句が詠みあげられました。
天王太鼓の子どもたちによる「祝い打ち」に始まり、荒川相撲甚句会の「呼び出し」「行司」により進められました。7人の審判団の軍配型団扇で判定されます。

最後まで接戦が繰り広げられ、第三瑞光小学校の4年生「花と月」チームが、横綱賞(優勝)を獲得しました。



平成30年3月10日、平成29年度奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会が開催されました。今年で9回目(東日本大震災に伴い2回中止)を迎えたこの大会は、相撲形式で取り組む子どもたちの俳句大会です。

二人一組133チームが予選に臨み、奥の細道結びの地である大垣市推薦の3チームを加え16チームが、千秋楽で自慢の俳句を披露し、横綱の座を競い合いました。

会場は、今年も桃の花とお雛様で彩られた素盞雄神社境内(南千住六丁目)。「おくのほそ道」の一節と松尾芭蕉の坐像が刻まれている松尾芭蕉の碑の前に設けた土俵の上で、俳

春の雨 トンネル見つけて 雨やどり
(決勝句)

春の雨 葉先目指して すべりゆく
(野尻かおる)

この大会は、奥の細道矢立初めの地・荒川区と、結びの地・大垣市の子供たちが、俳句を通して互いの町の歴史や文化に触れる交流の場でもあります。来年の春、上位の中から2チームが大垣市の「東西相撲句相撲大会」に派遣されます。みなさん、応援して下さいね。

賞	小学校名(学年)	チーム	選手名
横綱	第三瑞光小(4年)	花と月	大内 柚葵 土屋 かのん
東大関	第六日暮里小(2年)	オウオウ	瀧谷 春人 鈴木 粽生
西大関	汐入東小(3年)	和梅	梅木 優衣 ソルディラエルテ和
関脇	大垣市立静里小(3年)	静里山	岩永 丈太郎 杉野 純太
小結	第六日暮里小(6年)	カットウ	加藤 直 劉 韶
殊勲賞	大垣市立日新小(4年)	おんぶ	長澤 麻未 水谷 優那
敢闘賞	第三峡田小(5年)	春夏秋冬	藤井 あおい 和栗 沙姫
技能賞	大垣市立日新小(6・3年)	タイガー	真田 志穂 藤井 詩音

大会結果



結びの一番、決勝句を披露する横綱賞の「花と月」チーム

平成29年度の文化館・文化財の動向

4月1日
区文化財保護審議会委員9名委嘱

(内、2名新任、7名再任)。

区文化財保護推進員15名嘱託（内、
前項）

司
田
区云流工芸皮術迷承者
5名新任 10名再任

同
日
団体統括技術総合育成支援事業
4名の研修生延長、計8名が研修。

4月1日～4月16日 東京国立博物館で養福寺

の伝毘沙門天像を展示公開。続いて、

5月9日 木遣二天王立
象（云持国天豫・云毘沙門天豫）

像（包括國玉像、伊良湖門天像）指定有形文化財）を展示公開。

4月1日～4月28日 指定有形文化財・養福

寺仁王門（西日暮里三丁目）第二次

修理工事。

4月11日 平成28年度区登録・指定文化財を区

日報で紹介

4月13日～7月13日　岡田所エンターテンメント展示（指物　根本一徳氏）。

第1回区文化財保護推進員会。
（振替 機関 徳川）

4月29日～6月4日　「速報！あらかわの文化財」

「展」開催。平成28年度区登録・指定

文化財、新たに収集した資料を展示。

「はばたけ！若手職人作品展」を開催

時開催。

4月28日
常設展示室内で「奥の細道」関係資料公開。

5月2日
料公開
郡上學習室が云統工芸を紹介する

「あらかわ伝統工芸ギヤラリー」と

してオープンする。同日、あらわ座

(実演) を区登録無形文化財保持者・
寄席文字 橘右橘氏実施 (写真1)。

作品展「魅せるあらかわの技バート」開催(～9月13日)。	6月28日・7月8日・29日・8月1日・3日・23日・31日。
伝統工芸技術記録映像「伝統に生きるくあらかわの工芸技術」(区指定無形文化財保持者・つまみかんざし 戸村絹代氏)上映会を開催。	6月30日～7月12日 七夕エントランス展を実施。
同時に若手職人による展示解説実施。	7月5日 「七夕まつり」を南千住図書館と共催で実施。
・18日・25日・6月1日 「古文書に親しむ／初級編」実施(内容・材木問屋関係文書「両岸渡世向書物」)。	7月7日～9日 第38回「あらかわの伝統技術展」開催(荒川総合スポーツセンター)。
あらわ座(ワークショップ&実演、以下ワ実で表記)実施(ワ・実木版画摺 川嶋秀勝氏)。	7月14日～10月12日 区役所エントランス展示(三味線 加藤金治氏)。
田中清介氏(区指定無形文化財保持者・金切鋏)、黄綬褒章受章。	7月29日～8月31日 「夏休み子ども博物館」開催。「親子で楽しむ展示解説」「あらかわ職人道場(額縁・指物・手描友禅)」「勾玉作りにチャレンジ!」「俳句を作ろう!」「リトル学芸員(昔の道具を調べよう!)」実施。
第1回区文化財保護審議会(諮詢)。	7月30日 あらわ座実施。ワ・鍛金 福士豊二氏、実提灯文字・地口絵 村田修一氏。
・28日・29日 祭礼等伝統行事総合調査(石浜神社大祭)実施。	8月17日 第3回区文化財保護推進員会。
第2回区文化財保護推進員会。	8月22日 区文化財保護審議会合同部会開催。
区文化財保護審議会合同部会開催。	8月25日・26日・27日 祭礼等伝統行事総合調査(諏方神社大祭)実施。
あらわ座実施。ワ・つまみかんざし査(素盞雄神社天王祭)実施。	8月27日 古文書に親しむ／中級編実施(内容・「奥の細道」)。
戸村絹代氏(実扇子 深津佳子氏)。	9月8日・10月13日・11月10日・12月8日 祭撮影。
9月14日～28日 エントランスで「俳句を作ろ	



写真1 5月2日オープンした「あらかわ伝統工芸ギャラリー」実演の様子

9月14日～1月10日	あらかわ伝統工芸ギャラリーで作品展「魅せるあらかわの技パートII」開催。
9月23日	あらわ座実施。〔ワ〕のれん染 片山昭氏、〔実〕鍛金 長澤利久氏。
9月26日	区文化財保護審議会合同部会開催。
9月29日	『荒川ふるさと文化館だより』第38号発行。
10月2日	区文化財保護審議会会长・河合正朝氏（千葉市美術館館長、慶應義塾大学名誉教授）、東京都功労者表彰（文化功労）受賞。
10月3日～11月24日	区役所エントランス展示施。職人さんを区内24の小学校に2名ずつ派遣。
10月13日～1月24日	企画展「下町の名宝展」（鍛金 福士豊二氏）。
10月19日	第4回区文化財保護推進員会。
10月28日～12月3日	開催。11月12日 関連イベント、記念講演会「荒川区の文化財の魅力と保存の意義」（講師：区文化財保護審議会・河合正朝会長、伊藤裕久副会長、山本暉久委員）実施。
10月29日	「文化館*ブックス 両岸渡世向書物」刊行。
11月1日	あらわ座実施。〔ワ〕漆塗 角光男氏、〔実〕犬張子 田中作典氏。史跡めぐり＆観月会（隅田川沿いの文化財をめぐる）。観月会と句会を石浜神社にて実施。
11月10日	区文化財保護推進員1名委嘱（新任）福士豊二氏（区登録無形文化財保持者・鍛金）、瑞宝单光章受章。
11月11日	あらわ座実施。〔ワ〕彫金 田村尚子
11月12日	〔実〕梶田秀樹氏。
11月13日	あらわ座実施。〔ワ〕彫金 森田孝雄氏。
11月14日	〔実〕べつ甲細工
11月15日	〔実〕象牙挽物・細工
11月16日	〔実〕象牙挽物・細工
11月17日	〔実〕象牙挽物・細工
11月18日	〔実〕象牙挽物・細工
11月19日	〔実〕象牙挽物・細工
11月20日	〔実〕象牙挽物・細工
11月21日	〔実〕象牙挽物・細工
11月22日	〔実〕象牙挽物・細工
11月23日	〔実〕象牙挽物・細工
11月24日	〔実〕象牙挽物・細工
11月25日	あらわ座実施。〔ワ・実〕木版画摺松崎啓三郎氏、松崎浩繁氏。
12月3日	あらわ座実施。〔ワ〕提灯文字 前森宏之氏、〔実〕指物 渡辺光氏。
12月26日	第2回区文化財保護審議会開催（答申案）。
1月13日～4月13日	区役所エントランス展示（裁鋏 石塚昭一郎氏）。
1月18日	第5回区文化財保護推進員会。
1月19日	第3回区文化財保護審議会開催（答申）。
1月25日～3月11日	第51回館蔵資料展「道具が語る昭和の暮らし展」（写真2）。
1月26日	〔写真2〕「道具が語る昭和の暮らし展」における小学校見学の様子
3月10日	奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会開催。大垣市小学生3チームを招待。
3月11日	文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業「講演会 三河島山車人形の魅力」「山車祭礼の基礎知識」「天王祭と神輿・山車」（講師：大東敬明氏）開催。
3月21日	第6回区文化財保護推進員会。
3月29日	区指定無形文化財保持者・鍛金 菅原悦夫氏の作品購入。
3月30日	同 日 史跡説明板「木造毘沙門天像」（啓運寺）建替え、「思川と涙橋」（南千住二丁目）移設。日暮里地区説明板に英語版20本取付け。指定有形文化財標柱「旧上野の黒門」（円通寺）建替え。「龜香神社関係資料」（石浜神社）、「小塙原の刑場跡」（回向院）修繕。
2月18日	〔実〕象牙挽物・細工
2月28日	〔実〕象牙挽物・細工
3月1日	〔実〕象牙挽物・細工
3月31日	〔実〕象牙挽物・細工
4月1日	〔実〕象牙挽物・細工
4月2日	〔実〕象牙挽物・細工
4月3日	〔実〕象牙挽物・細工
4月4日	〔実〕象牙挽物・細工
4月5日	〔実〕象牙挽物・細工
4月6日	〔実〕象牙挽物・細工
4月7日	〔実〕象牙挽物・細工
4月8日	〔実〕象牙挽物・細工
4月9日	〔実〕象牙挽物・細工
4月10日	〔実〕象牙挽物・細工
4月11日	〔実〕象牙挽物・細工
4月12日	〔実〕象牙挽物・細工
4月13日	〔実〕象牙挽物・細工
4月14日	〔実〕象牙挽物・細工
4月15日	〔実〕象牙挽物・細工
4月16日	〔実〕象牙挽物・細工
4月17日	〔実〕象牙挽物・細工
4月18日	〔実〕象牙挽物・細工
4月19日	〔実〕象牙挽物・細工
4月20日	〔実〕象牙挽物・細工
4月21日	〔実〕象牙挽物・細工
4月22日	〔実〕象牙挽物・細工
4月23日	〔実〕象牙挽物・細工
4月24日	〔実〕象牙挽物・細工
4月25日	〔実〕象牙挽物・細工
4月26日	〔実〕象牙挽物・細工
4月27日	〔実〕象牙挽物・細工
4月28日	〔実〕象牙挽物・細工
4月29日	〔実〕象牙挽物・細工
4月30日	〔実〕象牙挽物・細工
5月1日	〔実〕象牙挽物・細工
5月2日	〔実〕象牙挽物・細工
5月3日	〔実〕象牙挽物・細工
5月4日	〔実〕象牙挽物・細工
5月5日	〔実〕象牙挽物・細工
5月6日	〔実〕象牙挽物・細工
5月7日	〔実〕象牙挽物・細工
5月8日	〔実〕象牙挽物・細工
5月9日	〔実〕象牙挽物・細工
5月10日	〔実〕象牙挽物・細工
5月11日	〔実〕象牙挽物・細工
5月12日	〔実〕象牙挽物・細工
5月13日	〔実〕象牙挽物・細工
5月14日	〔実〕象牙挽物・細工
5月15日	〔実〕象牙挽物・細工
5月16日	〔実〕象牙挽物・細工
5月17日	〔実〕象牙挽物・細工
5月18日	〔実〕象牙挽物・細工
5月19日	〔実〕象牙挽物・細工
5月20日	〔実〕象牙挽物・細工
5月21日	〔実〕象牙挽物・細工
5月22日	〔実〕象牙挽物・細工
5月23日	〔実〕象牙挽物・細工
5月24日	〔実〕象牙挽物・細工
5月25日	〔実〕象牙挽物・細工
5月26日	〔実〕象牙挽物・細工
5月27日	〔実〕象牙挽物・細工
5月28日	〔実〕象牙挽物・細工
5月29日	〔実〕象牙挽物・細工
5月30日	〔実〕象牙挽物・細工
5月31日	〔実〕象牙挽物・細工
6月1日	〔実〕象牙挽物・細工
6月2日	〔実〕象牙挽物・細工
6月3日	〔実〕象牙挽物・細工
6月4日	〔実〕象牙挽物・細工
6月5日	〔実〕象牙挽物・細工
6月6日	〔実〕象牙挽物・細工
6月7日	〔実〕象牙挽物・細工
6月8日	〔実〕象牙挽物・細工
6月9日	〔実〕象牙挽物・細工
6月10日	〔実〕象牙挽物・細工
6月11日	〔実〕象牙挽物・細工
6月12日	〔実〕象牙挽物・細工
6月13日	〔実〕象牙挽物・細工
6月14日	〔実〕象牙挽物・細工
6月15日	〔実〕象牙挽物・細工
6月16日	〔実〕象牙挽物・細工
6月17日	〔実〕象牙挽物・細工
6月18日	〔実〕象牙挽物・細工
6月19日	〔実〕象牙挽物・細工
6月20日	〔実〕象牙挽物・細工
6月21日	〔実〕象牙挽物・細工
6月22日	〔実〕象牙挽物・細工
6月23日	〔実〕象牙挽物・細工
6月24日	〔実〕象牙挽物・細工
6月25日	〔実〕象牙挽物・細工
6月26日	〔実〕象牙挽物・細工
6月27日	〔実〕象牙挽物・細工
6月28日	〔実〕象牙挽物・細工
6月29日	〔実〕象牙挽物・細工
6月30日	〔実〕象牙挽物・細工
7月1日	〔実〕象牙挽物・細工
7月2日	〔実〕象牙挽物・細工
7月3日	〔実〕象牙挽物・細工
7月4日	〔実〕象牙挽物・細工
7月5日	〔実〕象牙挽物・細工
7月6日	〔実〕象牙挽物・細工
7月7日	〔実〕象牙挽物・細工
7月8日	〔実〕象牙挽物・細工
7月9日	〔実〕象牙挽物・細工
7月10日	〔実〕象牙挽物・細工
7月11日	〔実〕象牙挽物・細工
7月12日	〔実〕象牙挽物・細工
7月13日	〔実〕象牙挽物・細工
7月14日	〔実〕象牙挽物・細工
7月15日	〔実〕象牙挽物・細工
7月16日	〔実〕象牙挽物・細工
7月17日	〔実〕象牙挽物・細工
7月18日	〔実〕象牙挽物・細工
7月19日	〔実〕象牙挽物・細工
7月20日	〔実〕象牙挽物・細工
7月21日	〔実〕象牙挽物・細工
7月22日	〔実〕象牙挽物・細工
7月23日	〔実〕象牙挽物・細工
7月24日	〔実〕象牙挽物・細工
7月25日	〔実〕象牙挽物・細工
7月26日	〔実〕象牙挽物・細工
7月27日	〔実〕象牙挽物・細工
7月28日	〔実〕象牙挽物・細工
7月29日	〔実〕象牙挽物・細工
7月30日	〔実〕象牙挽物・細工
7月31日	〔実〕象牙挽物・細工
8月1日	〔実〕象牙挽物・細工
8月2日	〔実〕象牙挽物・細工
8月3日	〔実〕象牙挽物・細工
8月4日	〔実〕象牙挽物・細工
8月5日	〔実〕象牙挽物・細工
8月6日	〔実〕象牙挽物・細工
8月7日	〔実〕象牙挽物・細工
8月8日	〔実〕象牙挽物・細工
8月9日	〔実〕象牙挽物・細工
8月10日	〔実〕象牙挽物・細工
8月11日	〔実〕象牙挽物・細工
8月12日	〔実〕象牙挽物・細工
8月13日	〔実〕象牙挽物・細工
8月14日	〔実〕象牙挽物・細工
8月15日	〔実〕象牙挽物・細工
8月16日	〔実〕象牙挽物・細工
8月17日	〔実〕象牙挽物・細工
8月18日	〔実〕象牙挽物・細工
8月19日	〔実〕象牙挽物・細工
8月20日	〔実〕象牙挽物・細工
8月21日	〔実〕象牙挽物・細工
8月22日	〔実〕象牙挽物・細工
8月23日	〔実〕象牙挽物・細工
8月24日	〔実〕象牙挽物・細工
8月25日	〔実〕象牙挽物・細工
8月26日	〔実〕象牙挽物・細工
8月27日	〔実〕象牙挽物・細工
8月28日	〔実〕象牙挽物・細工
8月29日	〔実〕象牙挽物・細工
8月30日	〔実〕象牙挽物・細工
8月31日	〔実〕象牙挽物・細工
9月1日	〔実〕象牙挽物・細工
9月2日	〔実〕象牙挽物・細工
9月3日	〔実〕象牙挽物・細工
9月4日	〔実〕象牙挽物・細工
9月5日	〔実〕象牙挽物・細工
9月6日	〔実〕象牙挽物・細工
9月7日	〔実〕象牙挽物・細工
9月8日	〔実〕象牙挽物・細工
9月9日	〔実〕象牙挽物・細工
9月10日	〔実〕象牙挽物・細工
9月11日	〔実〕象牙挽物・細工
9月12日	〔実〕象牙挽物・細工
9月13日	〔実〕象牙挽物・細工
9月14日	〔実〕象牙挽物・細工
9月15日	〔実〕象牙挽物・細工
9月16日	〔実〕象牙挽物・細工
9月17日	〔実〕象牙挽物・細工
9月18日	〔実〕象牙挽物・細工
9月19日	〔実〕象牙挽物・細工
9月20日	〔実〕象牙挽物・細工
9月21日	〔実〕象牙挽物・細工
9月22日	〔実〕象牙挽物・細工
9月23日	〔実〕象牙挽物・細工
9月24日	〔実〕象牙挽物・細工
9月25日	〔実〕象牙挽物・細工
9月26日	〔実〕象牙挽物・細工
9月27日	〔実〕象牙挽物・細工
9月28日	〔実〕象牙挽物・細工
9月29日	〔実〕象牙挽物・細工
9月30日	〔実〕象牙挽物・細工
10月1日	〔実〕象牙挽物・細工
10月2日	〔実〕象牙挽物・細工
10月3日	〔実〕象牙挽物・細工
10月4日	〔実〕象牙挽物・細工
10月5日	〔実〕象牙挽物・細工
10月6日	〔実〕象牙挽物・細工
10月7日	〔実〕象牙挽物・細工
10月8日	〔実〕象牙挽物・細工
10月9日	〔実〕象牙挽物・細工
10月10日	〔実〕象牙挽物・細工
10月11日	〔実〕象牙挽物・細工
10月12日	〔実〕象牙挽物・細工
10月13日	〔実〕象牙挽物・細工
10月14日	〔実〕象牙挽物・細工
10月15日	〔実〕象牙挽物・細工
10月16日	〔実〕象牙挽物・細工
10月17日	〔実〕象牙挽物・細工
10月18日	〔実〕象牙挽物・細工
10月19日	〔実〕象牙挽物・細工
10月20日	〔実〕象牙挽物・細工
10月21日	〔実〕象牙挽物・細工
10月22日	〔実〕象牙挽物・細工
10月23日	〔実〕象牙挽物・細工
10月24日	〔実〕象牙挽物・細工
10月25日	〔実〕象牙挽物・細工
10月26日	〔実〕象牙挽物・細工
10月27日	〔実〕象牙挽物・細工
10月28日	〔実〕象牙挽物・細工
10月29日	〔実〕象牙挽物・細工
10月30日	〔実〕象牙挽物・細工
10月31日	〔実〕象牙挽物・細工
11月1日	〔実〕象牙挽物・細工
11月2日	〔実〕象牙挽物・細工
11月3日	〔実〕象牙挽物・細工
11月4日	〔実〕象牙挽物・細工
11月5日	〔実〕象牙挽物・細工
11月6日	〔実〕象牙挽物・細工
11月7日	〔実〕象牙挽物・細工
11月8日	〔実〕象牙挽物・細工
11月9日	〔実〕象牙挽物・細工
11月10日	〔実〕象牙挽物・細工
11月11日	〔実〕象牙挽物・細工
11月12日	〔実〕象牙挽物・細工
11月13日	〔実〕象牙挽物・細工
11月14日	〔実〕象牙挽物・細工
11月15日	〔実〕象牙挽物・細工
11月16日	〔実〕象牙挽物・細工
11月17日	〔実〕象牙挽物・細工
11月18日	〔実〕象牙挽物・細工
11月19日	〔実〕象牙挽物・細工
11月20日	〔実〕象牙挽物・細工
11月21日	〔実〕象牙挽物・細工
11月22日	〔実〕象牙挽物・細工
11月23日	〔実〕象牙挽物・細工
11月24日	〔実〕象牙挽物・細工
11月25日	〔実〕象牙挽物・細工
11月26日	〔実〕象牙挽物・細工
11月27日	〔実〕象牙挽物・細工
11月28日	〔実〕象牙挽物・細工
11月29日	〔実〕象牙挽物・細工
11月30日	〔実〕象牙挽物・細工
12月1日	〔実〕象牙挽物・細工
12月2日	〔実〕象牙挽物・細工
12月3日	〔実〕象牙挽物・細工
12月4日	〔実〕象牙挽物・細工
12月5日	〔実〕象牙挽物・細工
12月6日	〔実〕象牙挽物・細工
12月7日	〔実〕象牙挽物・細工
12月8日	〔実〕象牙挽物・細工
12月9日	〔実〕象牙挽物・細工
12月10日	〔実〕象牙挽物・細工
12月11日	〔実〕象牙挽物・細工
12月12日	〔実〕象牙挽物・細工
12月13日	〔実〕象牙挽物・細工
12月14日	〔実〕象牙挽物・細工
12月15日	〔実〕象牙挽物・細工
12月16日	〔実〕象牙挽物・細工
12月17日	〔実〕象牙挽物・細工
12月18日	〔実〕象牙挽物・細工
12月19日	〔実〕象牙挽物・細工
12月20日	〔実〕象牙挽物・細工
12月21日	〔実〕象牙挽物・細工
12月22日	〔実〕象牙挽物・細工
12月23日	〔実〕象牙挽物・細工
12月24日	〔実〕象牙挽物・細工
12月25日	〔実〕象牙挽物・細工
12月26日	〔実〕象牙挽物・細工
12月27日	〔実〕象牙挽物・細工
12月28日	〔実〕象牙挽物・細工
12月29日	〔実〕象牙挽物・細工
12月30日	〔実〕象牙挽物・細工
12月31日	〔実〕象牙挽物・細工
1月1日	〔実〕象牙挽物・細工
1月2日	〔実〕象牙挽物・細工
1月3日	〔実〕象牙挽物・細工
1月4日	〔実〕象牙挽物・細工
1月5日	〔実〕象牙挽物・細工
1月6日	〔実〕象牙挽物・細工
1月7日	〔実〕象牙挽物・細工
1月8日	〔実〕象牙挽物・細工
1月9日	〔実〕象牙挽物・細工
1月10日	〔実〕象牙挽物・細工
1月11日	〔実〕象牙挽物・細工
1月12日	〔実〕象牙挽物・細工
1月13日	〔実〕象牙挽物・細工
1月14日	〔実〕象牙挽物・細工
1月15日	〔実〕象牙挽物・細工
1月16日	〔実〕象牙挽物・細工
1月17日	〔実〕象牙挽物・細工
1月18日	〔実〕象牙挽物・細工
1月19日	〔実〕象牙挽物・細工
1月20日	〔実〕象牙挽物・細工
1月21日	〔実〕象牙挽物・細工
1月22日	〔実〕象牙挽物・細工
1月23日	〔実〕象牙挽物・細工
1月24日	〔実〕象牙挽物・細工
1月25日	〔実〕象牙挽物・細工
1月26日	〔実〕象牙挽物・細工
1月27日	〔実〕象牙挽物・細工
1月28日	〔実〕象牙挽物・細工
1月29日	〔実〕象牙挽物・細工
1月30日	〔実〕象牙挽物・細工
1月31日	〔実〕象牙挽物・細工
2月1日	〔実〕象牙挽物・細工
2月2日	〔実〕象牙挽物・細工